

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター まーぶるの森		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 39/47人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 15/15人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方から「こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている」と感じてもらっている。	日々の連絡メールを記録する際に、同時に支援計画に沿って記録をすることで、普段からお子さんのニーズに合った支援、関わり方につながっています。支援の方向性に関して、責任者と現場の職員とで話し合いを進め、できるだけ迅速に対応できるよう心がけています。	引き続き5領域に沿った視点を大切に、それぞれのお子さんに合わせた関わり方を考えていきます。福祉会で行われている研修会などに参加し、専門性を高めていけるよう尽力していきます。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができるよう尽力している。	毎利用日に連絡メールでお子さんの様子をお伝えしています。できるだけ様子が伝わりやすいよう、エピソードを組み込んでいます。様子だけでなく活動の意図もお伝えしています。できたことだけでなく、課題となっている行動に対しどのように関わっているかといった点も大切に記載しています。	保護者の方からもご家庭であったエピソードを教えていただいています。当センターで「できた」ことも大切ですが、ご家庭や所属先の保育園や幼稚園での成長を教えていただくことが、私たち職員の喜びです。
3	保護者の方から「お子さんたちが通所を楽しみにしている」と感じてもらっている。	お子さんたちが「挑戦」しやすい活動を企画しています。活動内で「できた」ことが日常生活の中で「できた」ことにつながっていくような課題設定を進めています。	楽しみながらスキル向上へとつながっていく活動を引き続き企画していきます。お友だちと感情を共有できるような雰囲気づくりに尽力していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流として、保護者会や学習会、行事参観などの機会を設けていますが、きょうだい向けのイベントの開催等の企画はされていません。	きょうだい向けのイベントは今年度も開催できていません。	福祉会が行っているイベントにおいて、きょうだいが参加しやすい企画を検討しています。実施できるよう尽力していきます。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	これらの訓練を実施しているが、契約の際に保護者の方にお知らせする程度でマニュアルが作成されているところまで周知することができていません。	契約の際にしっかりとお伝えしていきます。
3	利用人数に対して適切に職員配置がされているものの、支援に對しての振り返りなどの時間を職員が崩って行うことや、休憩時間をしっかりととることが難しいです。	給食準備前後の対応ができる職員の数を増やしましたが、休憩をとりやすい状況とは言えません。	フレキシブルに動くことができる職員をおき、休暇対応ができるようにしていく予定です。

事業所名 児童発達支援センター まーぶるの森

公表日 2026年3月28日

2026年3月22日

利用児童数 日

回収数 39人/47人

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38			1	活動スペース、動線共にとても考えられている造りだと思えます。 広い空間で良いと思えます。 十分確保されていると思えます。	引き続き効率的にスペース確保ができるよう努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37			2	十分に配置されていると感じます。いつも安心してお任せできています。 十分手厚く見てくださっていると思えます。	引き続きできるだけ、お子さんたちの成長を支えていけるよう職員の確保ができるような環境を検討していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37			2	すぐに気が逸れてしまう子どもでもわかりやすい構造になっていると思えます。 目で見てもわかりやすくされていると思えます。 サーキット等わかりやすい。 絵カードが貼ってあったり視覚にわかりやすく工夫されていると思えます。	引き続きお子さんたちが、自分から行動できるような環境づくりを進めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39				いつもとても清潔できれいです。 パーテーションで集中できる空間になっていて活動しやすいと思えます。 とても清潔で安心して通わせてられています。 手洗い場やトイレなどの水回りが清潔に保たれていると思えます。	引き続き、安心して通っていただけるよう清潔な環境を保ってまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38			1	困っている事に対してすぐ助言を頂けて助かっています。 こちらに言い始めて親子共々に沢山の気付きと良い変化を感じています。 個々のペースに合わせて色々な活動に参加できていると思えます。本人が苦手なことに対して上手に声をかけて下さっているのが楽しく取り組めています。 ヒアリングを丁寧にしてくださるため、親と先生の共通認識が図れていると思えます。 子どもの性格を理解して支援してくださって助かっています。	引き続きお子さんの様子を活動の意図と共に丁寧に伝えさせていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39				合っていると思えます。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38			1	とても難しさのある子どもでも特徴や気持ちの確にとらえてくださっていると感じます。 十分理解してもらっています。 わかりやすく作成されていると思えます。	引き続き日常でのモニタリングをしっかりと行い適切な支援計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37			2	本人に合った支援内容になっていると思えます。 設定されていると思えます。	引き続き5領域の視点をベースに具体的な支援を検討していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39				先生方の関わり方や対応の仕方がすばらしく、驚くくらい結果が出ています。	支援計画に沿って日々の記録を録していることが結果につながっています。引き続き尽力していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	1			月ごとにプログラムが変わっていたり季節に合わせて活動内容となっている。 いつも色々な新しいプログラムや新しいものを持ってプログラムを組んで下さっています。	引き続きお子さんたちに様々な経験を積んでもらえるよう尽力していきます。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	21	1	6	11		所属先の園があるお子さんがほとんどであるため機会を設けていませんが、イベントなど検討していくべきことと認識しています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39				とても丁寧に説明がありました。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39				とても丁寧に説明がありました。 しっかり説明されています。	引き続き丁寧にお伝えしていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	2		5	ペアレントトレーニングに参加しました。 勉強会とても良い場でした。 機会があれば参加したいです。 年長の保護者には勉強会がありました。とても参考になりました。	広報の方法を検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	39				メールや口頭でのやりとりをしています。 連絡以外にも送迎の少しの時間、電話で情報共有ができています。 細かくメールで教えてくれたり、口頭で教えてくださいます。 連絡帳やメールにて相談にのってもらえる。	当園だけでなく、ご家庭や所属の幼稚園、保育園での成長を知ることが私たちの喜びです。教えていただけることをありがたく受け止めています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38			1	いつもとても助かっています。毎回面談ではいろいろ相談させてもらい助かっています。	引き続き日ごろから保護者の方とのコミュニケーションを大切にしていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38			1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	5	2	6	保護者交流会は1回なのでもう1、2回くらいあったら嬉しいと思います。きょうだいへの支援はしているの知らない。きょうだいのイベントがよくわからない。	保護者の方のご要望に耳を傾け、保護者交流会の他に小規模の茶話会などの交流を検討していきます。きょうだい同士の交流に関しては福祉会のイベントにて検討していきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	1			困り事や行き詰まり感が出た時には面談を組んで下さってとても助かりました。相談内容を保育園とも共有してくれて対応して下さりとても頼りにさせて頂いています。	引き続き保護者の方が望まれる形で相談していただいたことのできる限り答えています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36				2	メールで活動内容が細かく書かれています。写真があるので安心です。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	2		4		なかなかホームページを見る機会がない。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	1		1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1		6			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	1		9			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35			3			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36			2	その日中に連絡ももらえています。臨機応変に報告を下させて頂いています。すぐ電話での連絡がありました。(後でメールも)内容も細かく教えていただきました。	真摯に向き合い、迅速に対応できるよう努めていきます。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38				安心して通えています。子どもが先生をととても信頼していることが伝わってきます。先生のことが大好きです。先生を見ると安心するようです。	お子さんたちが楽しく自分らしく様々なことに挑戦できる環境を作っていきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	37	1			みんないつまでも楽しみにしています。もっと行きたい。毎日行きたくて仕方がないようでお迎えのバスが来ると走って玄関へ向かっています。「楽しみ」とは言ってませんが、一度も嫌がったことがありません。朝、眠くて起きられない時があり「まーぶるお休みする？」と言うとバツとすぐに起きます。大好きなんですよ。	引き続き、お子さんたちが楽しみに通えるよう、様々な活動内容企画していきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	1			とても満足しています。こちらに通うことができ親子共々に本当に良かったし、満足しています。丁寧な説明と母子に寄り添っていただいているため、とても満足しています。日々の活動には満足。放デイを探す時に支援員のことを聞いたが早く教えてほしかった。連絡帳、メールにて相談に乗ってもらえて対応方法が明確になる。	相談支援員の件については、お子さんの進路によってお話ししていくかどうか悩むところです。保護者の方の意向を早めに伺い、ご希望に沿った対応を心がけます。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター まーぶるの森				公表日	2026年 3月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	パーティションなどを利用しうまくスペースを工夫して使用しているが、1クラスの人数が多い日は無理があるように思う。	パーティションでスペースを分けている部屋では、活動によってスペース確保をしていることもあり、手狭に感じるようです。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	1	支援度の高いお子さんが多くいるクラスにおいては、職員が足りない。ときに別の部門から応援を受け活動している。支援度の高さによって人員配置を考慮している。休みの職員がいると足りないと感じることがある。	突発的な課題に対応できるような職員配置に尽力していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14		部門によっては2階の部屋を利用しており、エレベーターがないためバリアフリー化とは言えないと思うが他に関しては適切である。個々の特性に応じた環境構成に努めている。	お子さんの支援の必要性に応じてクラス、部門を分けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13			清掃を担っている職員が尽力しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		パーティションで区切られた、刺激の少ないスペースを自分で希望するお子さんに提供しています。物理的に部屋数の問題もある。	限られた部屋やスペースの中で尽力しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		評価表の内容を伝達してくれる機会を設けてくれている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		14			現在のところまだできていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14		日々の何気ないやりとりや様子をできるだけ職員間で話すようにしている。また気になること、相談事を話やすい環境を作ってくれているので、職員内の共通理解を得られていると思う。	現在、担当職員が連絡メールを記録する際に、同時に支援計画に沿った記入欄に記録をするようなシステムをとっているため、日ごろの支援の中でアセスメントをとることができています。責任者が日ごろから記録に目を通しており、支援計画に反映することができています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13			日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントは、支援計画に沿った記録を日々進めているためできていますが、標準化されたツールにおいてはまだ検討中の段階です。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13				

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14			子どもたちの状況や発達に応じ変化をつけている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	5	必ずではないが問題があった場合はその都度職員間で話し合い、支援方法を考え新たな方法で支援している。送迎の関係で打合せができないときがある。	送迎の関係や職員それぞれの勤務時間の関係で全員での打ち合わせは難しいです。責任者とそれぞれの職員が話ができるよう送迎担当の振り分けを考えるなど工夫はしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	1	モニタリングという形ではないが、場面に応じて責任者に現場に入ってもらう支援の助言をもらっている。	できるだけ現場に入り普段からモニタリングを進めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14			案内はたくさんある。医師から怪我等の応急処置の研修に参加させてもらった。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1	ほぼ所属先の園が当センター以外にあるお子さんなので機会を設けていない。	少ないながらも当センターを所属先としているおこさんがいるため、検討していかなくてはならない課題だと認識しています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		口頭で伝えたり、登園後にその日の様子を連絡帳としてメールしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	1	保護者会などは行っているが、きょうだい同士の交流は行っていない。	次年度の福祉会の行事の中できょうだい向けのイベントを検討しています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12		福祉会としてのお祭りだけでなく、往還センターで何か催しができると思います。	左記に同じです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14		家族に周知されているかわかりません。	契約時にお話をしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14		子どもたちと地震、火災を想定した避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13		ご家庭からの聞き取りを報告してもらい皆で周知しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11		該当する児童がいません。	